

VSX・SX 高輝度光源利用者懇談会 令和2年度 第一回幹事会

日時：令和2年9月29日（火）10:00～ 会場：ZOOMによるオンライン開催

参加者（敬称略）：

虻川匡司（会長）、雨宮健太、奥田太一、尾嶋正治、木下豊彦、木村真一、組頭広志、  
近藤寛、坂本一之、堀場弘司、山本達、和達大樹、  
原田慈久（オブザーバー）、小森文夫（オブザーバー）、松田巖（オブザーバー）、  
木村隆志（オブザーバー）

- 1) 虻川会長より新任の挨拶があった。  
新型コロナウイルスの影響による開催時期延期等の説明、幹事の所属の確認等がおこなわれた。
- 2) 虻川会長より、ニュースレターWeb4号発行の報告がおこなわれた。
- 3) 虻川会長（令和元年度会計委員長）より令和元年度会計報告があり、会計監事の堀場幹事より適正に監査が実施されたことが報告された。
- 4) 虻川会長より令和2年度、令和3年度委員長選出の説明があった。  
担当は以下の通りである。  
会計委員長、庶務委員長：山本達先生（東北大）  
編集委員長：坂本一之先生（大阪大）  
会計監査、計画委員長：組頭広志先生（東北大）
- 5) 令和2年度総会の日程について確認がおこなわれた。  
令和3年1月8日（金）9:30-10:30
- 6) 今年度の活動方針について議論がおこなわれた。
  - BL07LSU の移設や次世代放射光での利用の形態に関して、外部から情報が把握しにくいとの指摘がなされた。
  - これに関して、VSXも今までの延長線上で使えるかどうかという視点だけでなく、新しい放射光の新しい利用形態の中で、VSX領域の先端光を使ったサイエンスを提案して盛り上げて行く必要があるなどの議論がなされた。
  - 以上を踏まえVSX懇談会幹事より、次世代放射光施設に関する討論を行う場を設けるべきとの意見が出され、東京大学物性研究所のワークショップを利用して施設の現状も含めて情報を共有し、広く議論を進めるよう提案がなされた。